

ようこそ、文殊山へ。

文殊山の概要

文殊山は、約1,300年前(西暦717年)に泰澄大師が開山したと言われ、越前五山のひとつに数えられている。また、大文殊で縄文土器が発見されたことから、約4,300年前から信仰されていた可能性もある。標高は365mと高い山ではないが、自然が多く残っている。

大文殊

本堂には、文殊菩薩が安置され、文殊の知恵が授かれる山といわれている。



小文殊

室堂には、阿彌陀如来像が安置されている。室堂の目前には天狗杉とよばれる大木がある。



奥の院

古びた小堂には、聖観世音菩薩が安置されている。



文殊山アラカルト ①

文殊山は、登って知恵を授かることができるが、下山の時に一度でも振り返ると授かった知恵を失うという言い伝えがある。

文殊山アラカルト ②

◆文殊山のメジロ
文殊山にはメジロが多く、特に声が良く、めでたきこと有名。



MONJYU 文殊山ウォーキングマップ WALKING MAP



所用時間(目安)

- ・大正寺~小文殊 30分
- ・小文殊~大文殊 10分
- ・南井~大文殊 40分
- ・大文殊~奥の院 20分
- ・南井~奥の院 40分
- ・四方谷~奥の院 60分
- ・大村~小文殊 40分

展望台



▲鯖江市片上地区側 奥に日野山を望むことができる。

山婆岩

昔、山婆が住んでいたと伝えられる洞窟。山婆は夜になると麓の南井区へ降りてきて、野菜や果物、日用品を盗んで暮らしていたと言われている。



胎内くぐり

岩と岩の間を通り抜ける狭い門。通ると知恵を授かるか安産のご利益があり、邪心のある人が通ると門が閉じるとの言い伝えがある。



文殊霊泉

山頂近くなのに、枯れることがない不思議な湧き水。文殊菩薩の鬘伽(あか)水と言われ何千年前から沸き続けていると言われている。

文殊山アラカルト ③

◆片上地区の花木



ひいらぎ(柊)(市指定・斉藤家)



やまぼうし(山法師)

